

市民伝言板

サークル会員の募集や
イベント情報をお知らせします

※新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、掲載の催し等が中止になる場合があります。詳細は各申込み・問合せ先へ確認してください。

エコネットチェーンソーズイベント

間伐活動体験や間伐材でDIYをし、森林の大切さを学びます。**時**11月22日(日)午前8時30分～午後5時 **場**集合→市総合運動公園第3駐車場 **行き先**→新城市作手 **定**20人(先着順。未就学児は保護者同伴) **¥**1000円(昼食代・保険料込) **申**11月5日(木)から電話で鬼頭茂雄さん(☎090(4083)6874)へ

全日本写真連盟安城支部 第70回 支部写真展

会員一人ひとりが被写体に向かい合い、心と感性で捉えた作品を展示します。**時**12月3日(木)～6日(日)午前9時～午後5時(3日は午後1時から、6日は午後4時まで) **場**市民ギャラリー **問**榊原勇治さん(☎090(9178)9929)

サルビア太極拳 会員募集

太極拳は頭と身体を使うゆっくりとした運動です。初めての方、大歓迎。**時**(木)午後1時30分～3時 **場**安祥福祉センター **対**60歳以上 **¥**3カ月4500円 **問**広瀬佳代子さん(☎090(6077)4089)

第十四回 夕照会展

横山夕葉主宰の書道展。「文字の起源」をテーマに甲骨文字や金文での作品と、濃墨や淡墨の創作・古典の臨書作品を展示。**時**11月25日(水)～29日(日)午前9時～午後5時(29日は午後4時まで) **場**市民ギャラリー **問**黒柳知里さん(☎(78)5088)

スポーツウエルネス吹矢 初心者体験会講座

性別年齢を問わず、どなたでも楽しく始められます。ふれあいや仲間づくり、健康効果もあり。**時**12月3日(木)・17日(木)午前10時～正午(全2回) **場**桜井公民館 **定**5人程度(先着順) **¥**1000円 **他**道具は用意します **申**11月5日(木)から電話で飯田信行さん(☎090(1741)3189)へ

スクラップブック 会員募集

思い出の詰まった写真で、楽しく可愛いアルバムを作りませんか。初めての方でも簡単に作れます。**時**毎月1回午前10時～午後3時 **場**北部公民館 **¥**1回1500円(体験は1ページ500円) **持**写真 **問**天野美智恵さん(☎090(9128)3538)

注意事項

掲載希望者は、掲載月の3カ月前の1日(土)(日)(祝)(休)の場合は、その翌開庁日)午前9時から電話で秘書課広報広聴係(☎(71)2202)へ。各記事の詳細については、それぞれの問合せ先へお尋ねください。
※掲載は先着順。ただし、過去に掲載していない団体等を優先します。来年3月号掲載分は12月1日(火)から受け付けます。掲載基準等の詳細は同係まで問い合わせてください。

時期間・日時 **場**場所
内内容 **講**講師 **対**対象
定定員・募集人数
¥会費・入場料等
持持ち物 **他**その他
申申込方法等
問問合せ先

元気っ子アルバム

あんじょうの
元気な子どもたち



松下絢音ちゃん(11カ月)

麦茶が大好き！おやつよりもご飯が大好き！いっぱい食べて大きくなってね。
(里町)



石川優依ちゃん(6歳)
悠真くん(4歳)
実咲ちゃん(1歳)

ワンワンの音楽に合わせて踊るのが大好き♡「ばあっ」って言ってアピールする時もあるんだよ！
(石井町)



時森奏佑くん(11カ月)

生まれて来てくれてありがとう！大好きなこのリモコンでこれからもいっぱいいろんなものを見ようね
(赤松町)



内藤尊くん(5歳)
環くん(9カ月)

二人でいるといつも笑顔。我が家を明るくしてくれてありがとう！
(新田町)

元気っ子アルバムに掲載する写真を募集しています。掲載方法の問合せは、電話かEメールで秘書課広報広聴係(☎(71)2202 / info@city.anjo.lg.jp)へ。右記QRコードからメールで問合せ可能です。



夢や生きがい、ほっとする話を紹介します

ほっとタイ夢

杉浦 久雄 さん
(72歳・和泉町)



定年後、機械設計士から梨農家に転身。活力みなぎる第2の人生を謳歌中

60歳まで市内のメーカーで機械設計に携わってきた杉浦さん。定年後は500坪の梨畑をひとりで切り盛りし、「愛甘水」「幸水」「甘ひびき」の栽培に精を出す毎日です。

機械が大好きだった青年時代

実家が梨農家で、幼い頃から畑を手伝っていました。機械が大好きで、小学生の頃には農機具を父より上手く使いこなしていましたね。安城高校から名城大学工学部に進み、ロケットを研究したのも機械好きが高じて。卒業後、梨畑は継がず、安城市内の工作機械メーカーに就職。機械設計やNC旋盤に携わりました。定年退職後も10年程、梨栽培の傍ら、自宅で設計の仕事をしていました。

定年と同時に梨畑を借りることに

定年退職した年に、高齢になった近所の梨農家さんから「梨畑と農機具一切を貸すからやってくれんか」と頼まれたのが梨の栽培を始めたきっかけ。安い賃料で貸してもらえたから初期投資がいらな



かったこともあってね。実家を手伝っていたころの記憶を頼りに、JAの初心者向けセミナーで学びながらのスタートでした。

一番大変な作業は、「枝の棚づけ」。上に伸びる枝を剪定しながら、畑中に張り巡らせたワイヤー(棚)に、主要な枝を倒し固定させていきます。全部で約100本あるので、3カ月はかかる作業。その後花が咲いたら蜜蜂を放って受粉させ、実をつけ始めたら摘果(一本の枝に4～5個だけ残して残りは摘むこと)、実への袋かけ等を経て、夏頃に収穫です。試行錯誤しながら、一つ一つの作業を修得してきました。

技術系の思考は梨に向いている？

もう一つのライフワークは、サルビア学園の子ども達を梨狩りに招待すること。移転前の園舎と畑が隣同士だった縁で10年前に始めました。コロナで開催できなかった今年は、学園に梨を200個届けました。こんなにおいしい梨は初めて食べたよ、と手紙をもらったことも。やっぱり嬉しいね。

これまでを振り返ると、機械設計の経験が時短・コストカット等、いろいろなどろで生かしてきたかな。梨の栽培は、性格的に技術系の仕事をしてきた人に向いているのかもしれないですね。今後も市場にあまり出回っていない品種に挑戦する等、模索を続けていきます。



毎年子ども達を梨狩りに招待